| 学校番号 | ３０１ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅰ」　（光村図書出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年では、書の古典の臨書を中心に用具・用材の扱いや、姿勢、執筆、運筆、結構を学びます。これまでに書いたことのないような様々な書表現に触れるので、新たなものを知ろう、というウキウキワクワクした気持ちを持ちましょう。そして、幅広い感受性、鑑賞力をつけ、感受したことを言葉で表現することと、書道の基礎的技能を身に付けることを目指します。様々な書表現に触れ、自分の好きな表現や目指したい表現を見つけていきましょう。

## 2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書の表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>スピーチ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>スピーチ<br>コメントシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期・月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期　四月(月表示については目安) | 書体の変遷　書写と書道 | 国語科書写と芸術科書道<br>書体の変遷<br>用具、用材の扱いと授業について | ○ | | ○ | ○ | a:書写と書道の共通点、相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>c:用具、用材を的確に扱えている。姿勢執筆の基本を身に付け表現している。<br>d:　書体の変遷について理解し、さまざまな良さを味わおうとしている | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>提出作品 |
| | 漢字かな交じりの書 | 書写と書道の共通点、相違点を感受する。<br>中学までに学んだ書写の表現で漢字仮名交じりの文を書き、書道の表現との相違を感受する。 | ○ | ○ | | ○ | a:　書写と書道の共通点、相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:　書写での基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>d:　書写と書道の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 五月 | 漢字の書・楷書の学習 | 楷書の学習<br>さまざまな書風の臨書と鑑賞<br>孔子廟堂碑<br>九成宮醴泉銘 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:　各古典の歴史、書風の共通点、相違点に興味を持ち、楷書の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。<br>d:　各古典の共通点、相違点を感受し、古典作品を味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 六月 | 漢字の書・楷書の学習 | 雁塔聖教序<br>顔氏家廟碑 | | ○ | ○ | ○ | b:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c:　各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | d: 各古典の共通点、相違点を感受し、古典作品を味わっている。 | 提出作品 |
| 二学期 七月<br>八月 | 漢字の書・行書の学習 | 行書の学習<br>行書の特徴と基本<br>蘭亭序<br>風信帖 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 行書の歴史及び各古典の歴史、書風の共通点、相違点に興味を持ち、行書の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。<br>d:行書の特徴及び 各古典の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | 夏期課題 | 展覧会鑑賞レポート<br>書道関係書籍感想文 | | | | ○ | | レポート |
| 九月 | 漢字の書・創作の学習 | 選択的臨書 | ○ | ○ | ○ | | a: 古典の表現の違いに興味を持ち、自主的に意図をもって古典を選び、意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付けて表現している。<br>d:各古典の特徴及び共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | | 互評会<br>同じ古典を選んだ者でお互い批評やアドバイスを行う | | | | ○ | | 観察<br>コメントシート |
| 十月 | 漢字の書・創作 | 古典を生かして書こう<br>四字熟語作品創作<br>各自が選んだ古典を参考に創作作品を仕上げ、翌年のカレンダーに仕立てる。 | ○ | ○ | ○ | | a: 古典の表現の違いに興味を持ち、創作の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 行書の特徴及び各古典の形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。<br>d:行書の特徴及び 各古典の共通点、相違点を感受し、書道作品を味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | | 仕上げた作品について発表及び鑑賞 | | | | ○ | | 観察<br>コメントシート<br>スピーチ |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 十月<br>十一月<br><br>三学期<br>十二月 | 漢字の書の学習・篆書、篆刻の学習 | 篆書の学習 | ○ | ○ | | | a: 篆書の歴史や表現に興味を持ち、篆書・篆刻の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 篆書の特徴及び形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 篆書の特徴及び形や筆使いの基礎、基本を身に付け表現している。<br>d:篆書の特徴を感受し、味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | | 篆刻を鑑賞する<br>篆刻・姓名印の作成 | <br>○ | <br>○ | <br>○ | ○ | a: 篆刻の歴史や表現に興味を持ち、篆刻の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 篆刻の手順、用具について理解し、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 篆刻の表現について理解し基礎、基本を身に付け表現している。<br>d:篆刻の特徴を感受し、味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 一月<br><br>二月 | 仮名の書の学習 | 用具・用材の扱いなど<br>鑑賞<br>仮名の基本の姿勢・執筆・<br>基本用筆<br>単体<br>連綿<br>臨書 | ○ | <br><br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | <br><br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br><br><br><br><br><br>○ | a: 仮名の用具・用材に興味を持ち、仮名の書の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:仮名の線質・字形や筆使いの基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c: 仮名の線質・字形や筆使いの基礎、基本を身に付け表している。<br>d:仮名の古典の紙や墨色の変化などを感受し、作品を味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書の表現の構成と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。